

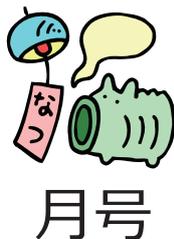
図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和元年
(2019年)

8



月号

第461号 (第38巻第5号)

【目次】

P 1	蔵書点検のご報告	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告とご寄附の報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324

FAX (0143) 85-4325

特別整理休館（蔵書点検）のご報告

7月4日（木）から11日（木）の休館期間中、利用者のみなさまには大変ご不便とご迷惑をおかけしました。ご協力いただきありがとうございました。

変更点

● 3階に防火壁を設置しました。

以前は防火シャッターを設置していましたが、防火壁に変更しました。また休憩スペースとして利用いただけるように、テーブルとイスを設置しました。

※ 3階に壁を設置したことで、これまで以上に落ち着いた学習スペースとなりました。ぜひご利用ください。

● 2階開架庫・3階書庫・閉架書庫の整理を行いました。

古くなった本の除籍を行い、また本の並べ方をより探しやすいよう変更しました。

（3階書庫・閉架書庫の本を利用希望の場合は職員までお尋ねください。）



これからもみなさんが利用しやすい図書館づくりを行っていきます。

映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は3日です！（毎月第1土曜日に開催）

- こども映画会 「劇場版アニメ 忍たま乱太郎 忍術学園全員出動！の段」
10時30分～ (アニメ 78分)
- 名画鑑賞会 「宮崎駿の仕事」（ドキュメンタリー 146分）
13時30分～

イベント・講座

※①②とも会場は図書館3階会議室です。
いずれも参加無料です！

①プログラミング教室（連続講座：随時参加可能）

● 申込不要

講師 図書館サポーター 笹岡孝好さん

温度センサーやLEDなどを備えたマイクロコンピュータ「micro:bit」を使用する講座です。基本操作を体験し、LEDの点灯を例にプログラム制御を学びます。

日時 8/4(日)、8/10(土)、8/17(土) ※全ての回に出席できなくても参加可能です。

いずれも10時～12時

主催：登別市立図書館市民活動サポーター

対象 小学校4年生～中学校3年生(20名)

お問い合わせ先：登別市立図書館

②ビブリオバトルの夕べ・・・共催 いぶりびぶりぶ♪ 松田靖子さん

お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみます。

開催日時 8月29日(木) 18時～19時30分

● 申込不要

おはなし会

※会場：図書館1階えほんのへや
※入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい（絵本や紙芝居の読み聞かせ）

日時 8月10日(土) 14時より



②おはなしぽけっと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 8月24日(土) 13時30分より

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

★まもなく開催！➡



「図書館を使った調べる学習コンクール入選作品展」

図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的として開催されている「調べる学習コンクール」の入賞作品を展示します。小学生から大人まで、幅広い参加者の作品をご覧ください。
※今年は過去5年間の入賞作品を展示します。

期間：8月1日(木)～8月25日(日)



事業報告

「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議」を開催しました

6月28日（金）、市内各小・中学校の図書担当者や図書ボランティアが一堂に会して連絡会議を開催しました。

この会議は、学校での読書活動を支援するため、地域と学校・図書館が連携して研修や情報交換を行うもので、毎年6月に開催しているものです。今年度は、登別市が道教委主催事業「チャレンジ！ビブリオバトル」のモデル地域指定を受けていることから、室蘭工業大学の須藤秀紹（すとう ひでつぐ）准教授を講師にお迎えして「学校でのビブリオバトル」実践をテーマに研修を行いました。

「ビブリオバトル」とは、自分が気に入った本を紹介し合うコミュニケーションゲームで、『人を通して本を知る・本を通して人を知る』をキャッチコピーに全国へ広がっているものです。

須藤先生からビブリオバトルの基礎・ルールの解説や、コミュニケーションメディアとしての意義などについてご講話を頂いた後、参加者全員がグループに分かれて実際にビブリオバトルを体験しました。

「今回が初めてのビブリオバトル」という方が多く、子どもたちへの指導のポイントなどを熱心にメモしていました。



ご寄附の報告

6月22日（土）、登別未来塾（桜会）様より、図書購入費のご寄附を頂きました。

同会様は「市民生活向上の一助に」をテーマに、まちづくりやチャリティなど幅広い活動をされていると伺っておりますので、今回頂戴いたしましたご寄附では、このテーマに沿える図書を選んで購入させて頂きたいと考えております。

皆様から賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 雑誌の一夜貸しを行っています。
- * 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報をご覧いただけます。



展示スペース



小さな本の紹介

動物達のかわいい表情やおしり図鑑
世界の美しい公園や博物館等、
小さな本に楽しさがギュッと
詰まっています。
どうぞご覧ください。



《新刊おすすめ本紹介》

大人の水泳 / 笹原 辰夫監修 / 日本文芸社



中高年の生涯スポーツとして人気のスイミングを、正しい泳ぎで健康や美容に留意し、大人がラクに長く泳げるよう解説しています。体の使い方、泳ぎ方の詳細を豊富な写真でわかりやすく紹介しています。

クロール、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎとそれぞれ写真付きの説明が詳しく載っていてとても分かりやすいです。息継ぎの仕方も解説付きで、出来ない、苦手と言う方必見です。人生100年時代、健康の為にチャレンジしてみたい方が多いでしょう。

市民のひろば

≪図書館市民活動サポーターだより≫

「郷土資料はタイムマシン」

登別市立図書館市民活動サポーター 高森 繁美

広げると幅1メートル近くになる複写版「登別温泉」や、大正3年発行の「登別温泉案内」、昭和49年に自費出版された「登別温泉 八子旅館」などなど。登別市立図書館3階郷土資料室で、地元関連の書籍、史資料をリストアップしていると、つい書き込みの手を止めて中を読みたくなることがある。ちょうど、昔のある出来事を調べようと新聞綴りを開いているうちに、興味を引く別な記事のあれこれに目線がたって、時間ばかりが過ぎていくように。

今年6月に発足した登別市立図書館市民活動サポーターの一員として、郷土資料室の書籍類をもっと市民に知ってもらおうと、取り組みを始めた。まずは、郷土関連のリストアップ作業。図書館もある程度、重要な書誌、書籍はデータベース化しているが、人手の関係から、すべて網羅しているわけではないという。次のステップは、市民や市内外の人に知ってもらいたい書籍類の電子データ化作業。最後は何らかの形でウェブサイトで公開するのが目的だ。

ちなみに、先に挙げた「登別温泉 八子旅館」の中に、懐かしい人の名と文章が記されていた。市立室蘭図書館の職員で、昭和52年に急逝した前田享之（たかゆき）さん、享年38歳。小冊子には「登別温泉のアイヌ語地名と伝説」で文章を寄せている。思い出すのは、右も左も分からない駆け出し記者時代、郷土資料室担当だった前田さんには随分と教えてもらい、ただただ「いい人」だった。

郷土資料—ある意味、忘れかけていた人と出会えるタイムマシンだ。



「読書の夏」



普段は運動をまったくせず、インドア派な私は、完全な運動不足に陥っています。最近では家で動かずにできるような、読書や編み物をする事が多いです。考えたり、手を動かしたりしているので、一応、脳は活性化されているのだろうとは思いますが、じっとしているので体力は衰えていく一方です。

そんな運動不足がたたってか、3か月前に派手に転んでしまいました。自宅の玄関から外に出た瞬間、2段ある階段を踏み外し、両手に持っていた荷物をぶちまけ、硬い地面に向かってヘッドスライディング…！！両手はすりむき、強打した両ひざは真っ青に腫れ上がり、痛々しい状態に。一か月以上、膝の痛みはとれず、散々な目にあいました。

これを機に、何かしらの運動を始めなければと思ってはみたものの、スポーツの秋はすぐそこまで来ているので、秋になったら始めればいかと、のんきに考えているだけで、今のところ行動には一切移していません。

秋という季節はスポーツの秋以外にも、読書の秋ともいわれていますが、四季の中で私が一番読書をする季節は夏です。夏の暑さが苦手で、紫外線が怖いお年頃なので、もともとインドア派な私は、さらに夏は家にこもりがちになってしまいます。休日は扇風機の風にあたりながら、冷たいものを食べたりして暑さをしのぎながら、ゆっくりと読書をして過ごします。



こういう過ごし方をするようになったのは、図書館で働き始めるようになってからです。それ以前は、読書をする習慣があまりありませんでしたが、図書館で働き始め、本に囲まれた生活を送っているうちに、自然と少しずつ読書をする時間が増えていき、読書の面白さに気付かされ、楽しめるようになっていきました。

最近では、学生の頃、国語の教科書に載っていた芥川龍之介の「羅生門」や夏目漱石の「こころ」のような、古い純文学作品を少しずつ読み返して楽しむ余裕も出てきました。あらためて読み返してみると、若いころに読んだ時とは違った捉え方ができ、何とも言えない面白さを感じることができます。



これからも色々な作品を読み進め、運動不足解消は秋まで置いておくとして、読書の夏を存分に楽しもうと思います。

わたしのおすすめ本

『生きるための図書館』 竹内愨著 岩波新書

図書館長 綿貫 亨



著者の竹内愨氏は日本図書館協会の理事長も務められた方で、登別でも講演されたことがありますので、直にお話をお聞きになった方もいらっしゃると思います。

『生きるための図書館』という書名を見たとき、これは竹内先生ならではの書名だと思いました。多くの図書館員に読み継がれている『これからの図書館員のみなさんへ』（かばねやみブックレット）で、先生は「図書館は人の自立を助ける機関です。」と述べておられます。先生は60年以上、「図書館とは人が生きていく上で一体なんなのだろう」という思いを抱き続けてこられたとのことでした。

本書では調布市立図書館と瀬戸内市民図書館を紹介しています。

竹内先生に呼んでいただいた学習会で、この2つの館長から事例発表がありました。貴重な話を伺うことができました。そのときのことを思い出しました。

「第4章 災害から学んだこと」では、東松島市図書館を取り上げています。以前、先生から「この本をお読みなさい」と薦められたのが『東松島市図書館 3.11からの復興』（加藤孔敬著、日本図書館協会）でした。それは私が見聞した取組事例で最も感銘を受けたものでした。なぜここまでできるのだろうと自問しました。図書館は地方行政の一環であり、行政ルートで解決するという方向性の重要さもあらためて認識しました。

今春の連休に「宮古・室蘭フェリー」で三陸を訪れ、彼の地の現状を見て回りました。オープン直後の南三陸町生涯学習センターを訪れたときは、ここに至るまでにどれだけのすさまじい時を経てきたのだろうと思いました。

不易と流行といいます。いま図書館はまさに変化の時期にあります。特に北海道は財政難と人口減少が全国に先駆けて進行しており、教条的な硬直した図書館論では対処できなくなっています。変化に対応した変容が迫られています。

一方で、時代が変わっても決して変わることはない本質というものがあると思います。竹内先生の本を読むと、いつもそこに気づかされます。

先生からは叱責を頂戴することが多く、それだけに「館長に1冊献呈いたします。後は公開書架に置いてください。」と、4冊も登別の図書館に贈ってくださったことは本当に嬉しいことでした。

竹内愨先生は昭和2年のお生まれで、偶然ですが4年前に他界した私の父と同一年です。92歳になられる先生が、お手紙で「四年かけた本がやっとできました。」とあるのを見て胸がいっぱいになりました。新刊です。どうぞお読みください。

新着図書案内 令和元年8月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		決定版北海道道の駅ガイド 2019-20	紺谷 充彦
「モノの単位」大事典	ホームライフ 取材班	● 吉人兩名 江戸日本の知られざる二重身分	尾脇 秀和
殺されても聞く 日本を震撼させた核心的質問30	田原 総一郎	植民地から建国へ	和田 光弘
IT用語図鑑 ビジネスで使える厳選キーワード256	増井 敏克	皇后雅子 妃から后への三十年	石井 勤
● かがくのとものもと 月刊科学絵本「かがくのとも」の50年	福音館書店	「平成の天皇」論	伊藤 智永
二度読んだ本を三度読む	柳 広司	さあ、バリアフリー温泉旅行に 出かけよう!	山崎 まゆみ
● 京大変人講座	酒井 敏ほか	埼玉 川越・秩父・鉄道博物館 2019	昭文社
世界の本当の好きたちが教えてくれた 人生を変えた本と本屋さん	ジェーン・マウント	カナダの謎 なぜ『赤毛のアン』はロブスターを食べないのか?	平間 俊行
問い続ける力	石川 善樹	● 幕末 秘蔵古写真	日本カメラ博物館 監修
1 哲学・宗教		沖縄と核	松岡 哲平
歎異抄 仏にわが身をゆだねよ	釈 徹宗	昭和天皇最後の侍従日記	小林 忍・ 共同通信取材班
● はい!こちら子ども記者相談室デス!	かめおか 子ども新聞	ドライブ北海道ベスト 2020	昭文社
泰山 中国人の信仰	E. シャヴァンヌ	るるぶムーミンバレーパーク メッツァ公式ガイド	JTBパブリッシング
大人だからこそ忘れないでほしい 45のこと	齋藤 孝	平将門と天慶の乱	乃至 政彦
55歳からの時間管理術		3 政治・経済・社会・教育	
● 生死の覚悟	高村 薫・ 南 直哉	アメリカ人のみた日本の死刑	デイビッド・ T. ジョンソン
FBI捜査官が教える「しぐさ」の 実践解説辞典407	ジョー・ナヴァロ	140字の戦争 SNSが戦場を変えた	デイヴィッド・ パトリカラコス
良い加減に生きる 歌いながら考える深層心理	きたやま おさむ	● 新たなマイノリティの誕生 声を奪われた白人労働者たち	ジャスティン・ ゲスト
おしゃれの手引き115	中原 淳一	海戦の世界史	ジェレミー・ ブラック
新訳夢判断	フロイト	ちょこっとずばら老後の楽ちん片付け術	保坂 隆
● 年齢は捨てなさい	下重 暁子	椅子に座ってできるシニアの1, 2分間 筋トレ体操55	斎藤 道雄
● 「空気」を読んでも従わない	鴻上 尚史	50歳から結婚してみませんか?	スローマリッジ 取材班
あの天才がなぜ転落	玉手 義朗	困難な子育て	堀埜 浩二
死と愛 新版 ログセラピー入門	ヴィクトール・ E. フランクル	● 未和 NHK記者はなぜ過労死したのか 虐待された少年はなぜ、事件を 起こしたのか	尾崎 孝史 石井 光太
2 歴史・地理		シニアのための防災手帖	三平 洵監修
院政 天皇と上皇の日本史	本郷 恵子	なぜデフレを放置してはいけないか	岩田 規久男
大嘗祭の本義	折口 信夫	移民解禁 受け入れ成功企業に学ぶ 外国人材活用の鉄則	永井 隆
東欧好きなモノを追いかけて	久保 よしみ	業界と職種がわかる本 '21年版	岸 健二
観光列車旅百科	「旅と鉄道」編集部	大人になる前に知る命のこと	加納 尚美
考古学講義	北條 芳隆	LGBTってなんだろう? 改訂新版	薬師 実芳ほか
半藤一利 橋をつくる人	半藤 一利	官僚制と公文書 改竄、捏造、忖度の背景	新藤 宗幸
アイヌの漆器に関する学際的研究	浅倉 有子	赤ちゃんの心はどのように育つのか	今福 理博
札幌から日帰りゆったりハイキング	菅原 靖彦		

新 着 図 書 案 内 令和元年8月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
間接護身入門	葛西 眞彦	なぜ歯科の治療は1回では終わらないのか？聞くに聞けない歯医者ギモン40	若林 健史
高齢者のためのおやつレクリエーション	鈴木 恵監修	かみやすい飲み込みやすい高齢者のやわらか食132	江頭 文江
賢い子を育てる夫婦の会話	天野 ひかり	富士山はどうしてそこにあるのか	山崎 晴雄
13歳からの日本外交	孫崎 享	難聴・耳鳴りの9割はよくなる 脳を鍛えて聞こえをよくする「補聴器リハビリ」	新田 清一
現場発！ニッポン再興	出町 譲	イモムシの教科書	安田 守
みんなの「わがまま」入門	富永 京子	● 孟司と誠の健康生活委員会	養老 孟司 ・近藤 誠
日本の地方政府	曾我 謙悟	がん免疫療法とは何か	本庶 佑
平成金融史	西野 智彦	へんな名前の植物	藤井 義晴
● トッカイ 不良債権特別回収部	清武 英利	日本の国石「ひすい」	土山 明
手形小切手のことならこの1冊	自由国民社	● 共感障害 「話が通じない」の正体	黒川 伊保子
アイヌの法的地位と国の不正義	市川 守弘	富士山噴火と南海トラフ	鎌田 浩毅
ふるさと創生 北海道土幌町のキセキ	黒井 克行	糖質オフ大全科	水野 雅登監修
平成経済衰退の本質	金子 勝	● ゴリラの森、言葉の海	山極 寿一・ 小川 洋子
内戦の地に生きる フォトグラファーが見た「いのち」	橋本 昇	国立がん研究センター東病院の管理栄養士さんが考えたがんサイバターの毎日ごはん	千歳 はるか
ゲーム理論入門の入門	鎌田 雄一郎	深海-極限の世界	藤倉 克則・ 木村 純一
バブル経済事件の深層	奥山 俊宏 ・村山 治	2つの粒子で世界がわかる 量子力学から見た物質と力	森 弘之
兵隊たちの陸軍史	伊藤 桂一	先生、アオダイショウがモモンガ家族に迫っています！	小林 朋道
外国人にも話したくなるビジネスエリート が知っておきたい教養としての日本食	永山 久夫監修	● 天才と発達障害	岩波 明
教科書から消える！？偉人たち	初田 景都	5 技術・工業・家事	
● 「不法」なる空間に生きる 占拠と立ち退きをめぐる戦後都市史	本岡 拓哉	夏めし100 さっぱり&スパイシー	高橋 雅子
● 思い邪なし 京セラ創業者稲盛和夫	北 康利	ドライフラワーの活け方	植物生活編集部
平成家族	朝日新聞取材班	とっておき手づくり果実酒	大和 富美子
台湾物語 「麗しの島」の過去・現在・未来	新井 一二三	日本発酵紀行	小倉 ヒラク
4 自然科学・医学		アフタヌーンティーで旅するイギリス	新宅 久起
図解山の幸・海の幸薬効・薬膳事典	池上 文雄	● とにかく盛り上がる夜ごはん	小田 真規子
若い読者のための『種の起源』	チャールズ・ ダーウィン	ときめく10分スイーツ	若山 曜子
プレ更年期1年生	対馬 ルリ子監修	服を作る モードを超えて	山本 耀司
ピーナッツで長生き！	井上 浩義	マツダ 心を燃やす逆転の経営	山中 浩之
鳥はなぜ鳴く？ホーホケキョの科学	松田 道生	BBQ バーベキューを盛り上げる100のコト。	柊出版社
47都道府県・花風景百科	西田 正憲ほか	● カリスマ失墜 ゴーン帝国の20年	日経ビジネス
人を襲うハチ	小川原 辰雄	超ロボット化社会 ロボットだらけの未来を賢く生きる	新山 龍馬
あぶない！聞こえの悪さがポケの始まり	坂田 英明	かまわぬ手ぬぐい百科	河出書房新社編集部
葉っぱはなぜこんな形なのか？	林 将之	LaLaDress心踊るベビー服とこもの	鳥巢 彩子

新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 8 月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
5 技術・工業・家事		ちいさな花言葉・花図鑑	宇田川 佳子監修
簡単セルフネイルLESSON	辰巳出版	養蜂大全	松本 文男
基本がいちばんよくわかるアクセサリーのれんしゅう帳	寺西 恵里子	7 芸術・スポーツ	
しあわせとお金の距離について	佐藤 治彦	● 完璧という領域	熊川 哲也
夫婦ふたり分！体が喜ぶ！シニアごはん	金丸 絵里加	● ビッキの叫び声	阿部 典英
賛否両論笠原将弘 超・鶏大事典	笠原 将弘	コ・イ・ヌール 美しきダイヤモンドの血塗られた歴史	ウィリアム・ダルリンプル / アニタ・アナンド
建築用語図鑑 日本篇	中山 繁信ほか	証言イチロー 「孤高の天才」の素顔と生き様	別冊宝島編集部
● 人類、宇宙に住む 実現への3つのステップ	ミチオ・カク	1億3000万人のためのeスポーツ入門	但木 一真
飛田和緒のうちごはん	飛田 和緒	スポ飯 世界で戦うアスリートを目ざす子どもたちに	橋本 玲子
● ふだんの洋食 レシピを見ないで作れるようになります。	有元 葉子	ペットボトルで作るかわいい便利こもの	ブティック社
野菜保存のアイデア帖	島本 美由紀	手作り万華鏡入門	山見 浩司
世界一ためになる！美容成分図鑑	佐藤 薫監修	合気道入門	植芝 充央
あぶら身をゴツゴツ落とすきゅち体操	菊池 和子監修	平成スポーツ史 永久保存版 1989～2019 Vol. 1～6	ベースボール・マガジン社
透かし模様280 増補改訂版	日本ヴォーグ社	知れば知るほど行司・呼出し・床山	「相撲」編集部
大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実	仲村 和代・ 藤田 さつき	鏡の中のいわさきちひろ	歌代 幸子
● かんたん家庭で作るおいしい羊肉料理	菊池 一弘監修	掛軸 表装上達レッスン	藤井 弘之監修
● 読む寿司 オイシイ話108ネタ	河原 一久	大坂なおみ 世界No. 1に導いた77の言葉	児玉 光雄
東京いちどは訪れたいお寺の名建築	大浦 春堂	記録と記憶で読み解くJ-POPヒット列伝	臼井 孝
BRUNOホットプレート魔法のレシピ100	アイデアインター ナショナル監修	軍歌と日本人	大野 敏明
図解まるわかりサーバーのしくみ	西村 泰洋	ゼロから分かる！図解歌舞伎入門	新居 典子
6 産業・商業		● 市原悦子ことばの宝物	市原 悦子
草取りにワザあり！庭・畑・空き地、 場所に応じて楽しく雑草管理	西尾 剛	大人の水泳 きれいなフォームでゆったり健康的に泳ぐ！	笹原 辰夫監修
獣医学を学ぶ君たちへ	中山 裕之	きのう何食べた？ ～シロさんの簡単レシピ～	講談社
わかりやすい交通事故	吉田 杉明	ダウン症の書家 金澤翔子の一人暮らし	金澤 泰子
● 牙 アフリカゾウの「密猟組織」を追って	三浦 英之	志村ふくみ いのちを織る	志村 ふくみ
お抹茶のすべて 増補改訂	桑原 秀樹	こんなに面白い世界の囲碁ルール	王 銘琬
チーズの事典 絵画・建築・映画・文学で味わう	チーズ王国監修	● 35人の演奏家が語るクラシックの極意	伊熊 よし子
コップひとつからはじめる自給自足の野菜づくり百科	はた あきひろ	エコクラフトの雑貨春夏秋冬	荒関 まゆみ
野菜とハーブの水耕栽培	北条 雅章監修	赤岩 知床岬昆布番屋の夏	中西 建太郎
見上げてごらん、朝のネコを	岩合 光昭	クラゲ水族館BOOK	鈴木 朱紀子
無印良品ですっきり暮らしと収納のアイデア	エクスナレッジ	8 言語	
飢えと食の日本史	菊池 勇夫	瞬間声トレ 驚くほど声よくなる！	司 拓也
イネという不思議な植物	稲垣 栄洋	日々是日本語 日本語学者の日本語日記	今野 真二

新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 8 月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		● ボダ子	赤松 利市
● 限界病院	久間 十義著	平成ストライク	青崎 有吾ほか
● 鬼を待つ	あさの あつこ	上野-会津百五十年後の密約	西村 京太郎
悪の五輪	月村 了衛	第四の暴力	深水 黎一郎
椿宿の辺りに	梨木 香歩	リラと戦禍の風	上田 早夕里
● 夢見る帝国図書館	中島 京子	あのコの夢を見たんです。 山里亮太短編妄想小説集	山里 亮太
● 百花	川村 元気	美しい顔	北条 裕子
魔法を召し上げれ	瀬名 秀明	不老虫	石持 浅海
追憶の杜	門田 充宏	● むかしむかしあるところに、死体が ありました。	青柳 碧人
● もののふの国	天野 純希	● 同潤会代官山アパートメント	三上 延
● 彼女たちの場合は	江國 香織	● 心音	乾 ルカ
付添い屋・六平太 12 鳩の巻 逢引き娘	金子 成人	井上靖未発表初期短篇集	井上 靖
うちの子が結婚しないので	垣谷 美雨	9 その他の文学	
● 蒼色の大地	薬丸 岳	● 孤独という道づれ	岸 恵子
あずかりやさん 3 彼女の青い鳥	大山 淳子	声の物語	クリスティーナ・ ダルチャー
朝嵐	矢野 隆	ざんねんな食べ物事典	東海林 さだお
落梅の賦	武川 佑	春のお辞儀	長嶋 有
淀川八景	藤野 恵美	中川李枝子 本と子どもが教えてくれたこと	中川 李枝子
この橋をわたって	新井 素子	● 続 ペコロスの母に会いに行く	岡野 雄一
54字の物語 参	氏田 雄介	女と男の絶妙な話。	伊集院 静
神を統べる者 上宮聖徳法王誕生篇	荒山 徹	図書館司書と不死の猫	リン・トラス
行基 菩薩とよばれた僧	岳 真也	● しあわせしりとり	益田 ミリ
オバペディア	田丸 雅智	さようなら、ビタミン	レイチェル・コン
バシレウス 呂不韋伝	塚本 青史	超シルバー川柳	みやぎシルバー ネット
● 掌篇歳時記 春夏	瀬戸内 寂聴ほか	見仏記 道草篇	いとう せいこう ・みうら じゅん
ていん島の記	仁木 英之	僕が神さまと過ごした日々	アクセル・ハッケ
● アンド・アイ・ラブ・ハー (東京バンドワゴン 14) 偽りの春 神倉駅前交番狩野雷太の推理	小路 幸也	岸本葉子の「俳句の学び方」	岸本 葉子
白昼夢の森の少女	降田 天	● 愛と別れ 夫婦短歌	内田 康夫・ 早坂 真紀
友達未遂	恒川 光太郎	● 昭和からの遺言 足裏の記憶	倉本 聰
チャイムが鳴った	宮西 真冬	昭和よ、	山藤 章二
指名手配作家	日和 聡子	世界でいちばん不幸で、いちばん 幸福な少女	今岡 清
焼跡の二十面相	藤崎 翔	ブスの家訓	カレー沢薫
	辻 真先	宮中歌会始全歌集	宮内庁

敷地内全面禁煙について

健康増進法の改正により、受動喫煙防止のため
2019年7月1日から登別市立図書館敷地内は
全面禁煙となりました。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



図書館カレンダー 令和元年(2019年) 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1 ブックスタート 分館休館	2	3 映画会
4 プログラム教室	5 本館休館	6	7	8 分館休館	9	10 えほんのへやのおはなし会 プログラム教室
11 山の日 本館休館	12 本館休館	13	14	15 分館休館	16	17 プログラム教室
18	19 本館休館	20	21	22 分館休館	23	24 おはなしほけっと
25	26 本館休館	27	28 ライブラリースタート おはなし会	29 ビブリオバトル 分館休館	30 図書整理日 本館休館 分館休館	31

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00